

○令和4年度鳥獣被害対策モデル地区の活動実績

農林	地区	活動実績
県北	大子町 高柴地区 (R3～)	【ドローンによる捕獲支援】 ・ドローンを活用したイノシシの巻狩り捕獲を実施した ・巻狩り捕獲の際には現地検討会を開催した。
	常陸大宮市 下檜沢 (H28～)	【地域勉強会による地域ぐるみの取組活性化】 ・住民の要望により、捕獲技術に関する研修会を1月に開催した。 ・専門家による研修会を開催することにより、捕獲技術の向上や捕獲に関する専門的な知識の習得を図ることができた。
県央	笠間市片庭地区 (R4～)	【集落環境診断による地域ぐるみの取組活性化】 ・10月に集落環境診断を実施し、片庭地区における鳥獣被害対策の課題や対策を検討した。
	笠間市泉地区 (R4～)	【集落環境診断による地域ぐるみの取組活性化】 ・地域における鳥獣被害対策の活性化を図るため、集落環境診断を実施した。 ・現地点検結果をもとに、集落地図を作成や今後の対策等を検討した。
鹿行	銚田市青柳 (R3～)	【集落環境診断による地域ぐるみの取組活性化】 ・集落環境診断で作成した地図、課題・対策をまとめた資料を地元の人が利用する学習館に掲示し、対策に関する情報共有を図った。
県南	稲敷市 柏木地区 (R4～)	【遠隔監視操作・自動捕獲システムの導入による捕獲の効率化】 ・罠い罠に、映像を用いた侵入通知及び罠の作動が可能なICT装置を導入した。 ・令和4年2月時点で4頭を捕獲した。
	かすみがうら市 千代田地区及び かすみがうら地区 (R4～)	【捕獲通知システムの導入による捕獲活動の効率化】 ・11月の猟期開始からICT装置の取り付けを実施し、箱罠5基及びくくり罠5基で実証を開始した。 ・猟友会員は通知により罠を確認し、これにより見回り労力の軽減につながった。
県西	古河市上片田、 上片田宮前、上 大野 (R3～)	【センサーカメラによる生育調査】 ・センサーカメラを用いたイノシシ生息状況調査 令和3年8月から地区内の目撃情報を基にセンサーカメラ5台を設置し、イノシシの生息地域の把握に取り組んだ。 ・センサーカメラによるイノシシ生息調査をもとに箱わなを設置した。箱わなの周囲にはセンサーカメラ3台を設置し、捕獲状況のモニタリングを行った。